

お母様について

あなたの実のお母様について伺います。

お母様は現在ご健在（ご存命）ですか？

1) はい → 現在おいくつですか（ ）歳

9) 不明

2) いいえ → お母様が亡くなられたのは...

お母様が（ ）歳の時

あなた自身が（ ）歳の時

死因は何でしたか？

(次のうちひとつを選び○を打って下さい)

病死 事故死 自殺 他殺・戦死

不明

お母様の死因をお知りになったのは...

あなた自身が（ ）歳の時

あなたが15歳以前にお母様から1か月以上続けて別れて暮らされたことがありますか？ [死別は含みません]

1) いいえ → 次頁へ飛んでください

2) はい → お母様から別れて暮らされたことは...

全部で（ ）回あった

一番最初に経験したのは

あなた自身が（ ）歳の時

お母様が（ ）歳の時

最も長かったのは（ ）年（ ）ヵ月間

[15歳を越えて別れていた場合は、15歳までの期間の長さ]

お母様と別れて暮らされた理由は何ですか？

(該当するものすべてに○を打って下さい)

あなたの病気・入院 あなたの寄宿(寮)生活

お母様の病気・入院 お母様の仕事(営業など)

養子・里子 ご両親の別居

ご両親の離婚 戦争疎開

その他(ご事情をお書き下さい)

お母様のしつけは厳しかったですか。体罰はありましたか。15歳までの記憶をもとに、以下の項目について体験の頻度についてお答え下さい。体験の頻度は、最も多いときのご様子をもとにお答え下さい。

一度も なかった	全部で 1～2回	月に数回	年に数回	週に数回	ほぼ毎日
1	2	3	4	5	6

あなたはお母様から・・・

- (1) 邪魔者扱いされたり、「おいていっちゃうよ」「お前のような子はもういない」「うちの子ではない」などと言われた ----- 1-2-3-4-5-6
- (2) 「ごはん抜きよ」「捨てるよ」「部屋に行きなさい」と脅されたり、あなたが大切にしていたペットや人に危害を加えるとか、おもちゃを壊すとか捨てると言って脅された ----- 1-2-3-4-5-6
- (3) 侮辱されたり、他の人がいる前で強く叱られたり馬鹿にされて恥ずかしい思いをさせられた ----- 1-2-3-4-5-6
- (4) 平手で叩かれた ----- 1-2-3-4-5-6
- (5) こぶしで叩かれた ----- 1-2-3-4-5-6
- (6) 物で叩かれた ----- 1-2-3-4-5-6
- (7) 蹴られた ----- 1-2-3-4-5-6
- (8) 煙草などで火傷をおわされた ----- 1-2-3-4-5-6

お母様のしつけや体罰は、あなたの兄弟姉妹に比べて、あなたには厳しかったですか？

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) どちらとも言えない
- 4) 比べる兄弟姉妹がいなかった

お母様のあなたへの態度について伺います。15歳までの記憶をもとに、以下の設問について、「該当する」

(1)「やや該当する」(2)「あまり該当しない」(3)「全く該当しない」(4)のうちから1つ選んで、その数字を○で囲んで下さい。

該当する	やや該当する	あまり該当しない	全く該当しない
1	2	3	4

私の母は...

- (1) 暖かく優しい声で話しかけてくれた ----- 1-2-3-4
- (2) 必要なほどには手助けしてくれなかった ----- 1-2-3-4
- (3) 好きなことをさせてくれた ----- 1-2-3-4
- (4) 私に対して冷たかった ----- 1-2-3-4

該当する	やや該当する	あまり該当しない	全く該当しない
1	2	3	4

- (5) 私が抱えている問題や悩みに理解を示してくれた ----- 1-2-3-4
- (6) 私に対して優しくかった ----- 1-2-3-4
- (7) 自分で意思決定するのを好ましく思ってくれた ----- 1-2-3-4
- (8) 大人びてくるのを喜ばなかった ----- 1-2-3-4
- (9) 私がしようとする事を、総てにわたってコントロールしようとした 1-2-3-4
- (10) わたしのプライバシーを侵害した ----- 1-2-3-4
- (11) 私といろいろな事を話すのを楽しんでいた ----- 1-2-3-4
- (12) よく私に微笑みかけてくれた ----- 1-2-3-4
- (13) 私を子供扱いすることが多かった ----- 1-2-3-4
- (14) 私が必要なことや望んでいることに、理解を示さなかった ---- 1-2-3-4
- (15) 物ごとを私に任せてくれた ----- 1-2-3-4
- (16) 私に、自分は望まれていない子だと思わせた ----- 1-2-3-4
- (17) 精神的に不安定なときは、なだめてくれた ----- 1-2-3-4
- (18) あまり私と喋らなかった ----- 1-2-3-4
- (19) 私を母親に頼らせようとしていた ----- 1-2-3-4
- (1) 母親がそばにいないと自分のことができない子だ、
と私の事を考えていたらしい ----- 1-2-3-4
- (21) できるかぎり自由にさせてくれた ----- 1-2-3-4
- (22) 好きなときに外出させてくれた ----- 1-2-3-4
- (23) 過保護だった ----- 1-2-3-4
- (24) 褒めてくれなかった ----- 1-2-3-4
- (25) 好きな服を着せてくれた ----- 1-2-3-4

お母様の態度はあなたの兄弟姉妹に比べるとあなたには暖かかったですか

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) どちらとも言えない
- 4) 比べる兄弟姉妹がいなかった

お母様の態度はあなたの兄弟姉妹に比べるとあなたの自主性を尊重してくれましたか

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) どちらとも言えない
- 4) 比べる兄弟姉妹がいなかった

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成15年度 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
子ども家庭総合研究事業

周産期母子精神保健ケアの方策と効果判定に関する研究

妊娠後期面接マニュアル

熊本大学大学院 臨床行動科学

May 2004

記載方法

1. 記入用紙の記載はすべてBの鉛筆でお願いします。記載の変更をする際は消しゴムで消して新しく書きなおして下さい。
2. 各項目はいくつかの項目を除いてすべて適切な数値を与えられたマスの中に、1数字1マスで右につめて記入してください。「約」とか「1/2」といった表現は使わないで下さい。文章での記入が指示されている場合は、余白に自由記入して下さい。
3. 被検者の発言内容が面接の途中で変ったために判断がつかなかったり、面接で聴取しそこなったり、質問が不可能(例:回答が拒否される)あるいは回答があいまい、等の場合は「9」(2桁なら「99」、3桁なら「999」)と記入します。
4. 年齢・回数等については最も適切と思われる正の整数の数値を右に寄せて記入します。「約」とか「1/2」といった表現は使わないで下さい。
5. 前回面接時点からこれまでの心理症状の節では、この期間中に、さまざまな精神疾患が認められたか否かを確認します。そのため、各診断名ごとに診断特異的症状を一括して配列してあります。必ず例示してある設問にならって、直接、被検者に聞いて確認して下さい。症状がなければ1、あれば2、と記入します。このマニュアルで挿話 episode とは、寛解(2か月以上持続して症状のない状態)と別の寛解に挟まれた、精神医学的に障害を認める期間、もしくはそれまで精神医学的に健康だった者がある時点から症状を示し始め評価時点まで持続している期間のいずれかを指します。
6. さらに、各挿話について、発症時期と消失時期を確認し、西暦で記載します。発症が月の上旬中旬下旬でのみ想起されるのであれば、上旬は5日、中旬は15日、下旬は25日と記載します。また月でのみ想起される場合(例「およそ4月ごろだった」)は、15日と記載します。季節でのみ想起される場合(例「たしか3年前の春だった」)は、春→5月99日、夏→8月99日、秋→11月99日、冬→2月99日とし、年でのみ想起される場合(例「41歳になった年だった」)は年のみ記入しあとは99月99日とします。その上で、発症時期の確度を判定記入してください。挿話の消失時期についても同様に扱います。面接時点でも続いている症状については、その終了時期は面接日として記入して下さい。
7. 機能障害について、入院した場合や、たまたま連休中でないにしてもよかった場合等も、「もし通常の勤務(学業)に就いていたらどうか」と想定して、機能障害を評価します。例えば、飛行機恐怖症で飛行機に乗れば必ず恐怖感、動悸、口渇、胸部苦悶があり、そのため出張を命ぜられても、飛行機での日帰りなら強く拒否するような場合は、機能障害です。また、無理をして飛行機に乗っても、恐怖のため飛行中はほとんど隣席の同僚にも声を掛けられないなら機能障害です。高所恐怖があるが、いやだとは思っても10階にある事務所で毎日勤務し、勤務中は高所にいることを忘れ、昼休み中に食事に出るときなど怖さを感じるのであれば、機能障害ではありません。
8. 「……へ飛ぶ」と指示してある場合には以降の項目については質問をする必要がなく、記入欄を空白とします。
9. 記入する欄がなくても、重要な情報と思われる事柄はすべて余白にメモして下さい。
10. 記入方法について迷った場合は、面接終了後ただちに事務局(北村俊則)に相談して下さい。

記入方法等に関する相談電話

研究室直通

096-373-5181/096-373-5183

一般情報

施設:

妊婦氏名:

番号:

面接者名:

面接者番号:

調査年月日:

年

月

日

面接開始

[今回の妊娠に大きな問題がなかった場合]

「_____様, お元気でいらっしゃいましたか. また, 今日, 色々とお話を聞かせていただきますので, どうか宜しくお願いいたします」

[今回の妊娠で大きな問題があった場合]

「_____様, あれからいかがお過ごしでしたか. 随分と大変なご妊娠ですが, 今はいかがでいらっしゃいますか. また, 今日, 色々とお話を聞かせていただきますが, どうか宜しくお願いいたします」

「すでに前回お話しさせていただきました際に申し上げましたが, 今回の面接は, 厚生労働省の班研究の一部として行うもので, 妊娠前後の女性の心理的状态をお伺いし, 今後の産科医療においてご出産を控えた女性に対する心のケアの方策を決めて行くための重要な資料になります. インタビューは, 今回と, 産後2回を予定しております. お話をきかせていただいたデータは, すべてお名前を伏せて分析いたします. 個人データが部外者に知れることは全くありません. 面接は約30分ほどで終了します. もしお答えなさらたくない質問であれば, その部分は飛ばしますので, そのようにおっしゃって下さい」

「それと, こちらからすでにお渡ししましたアンケートはもうご記入いただけましたでしょうか. こちらで頂戴いたします. (まだ記入していなければ) では面接が終わってからご記入下さい (妊娠後期用アンケートと返信用封筒を手渡す)」

前回面接時点からこれまでのメンタルヘルス

ここで DSM-IV-TR に沿った診断を行うために SCID を実施

「次は、前回お目にかかってから現在までの期間の特に心理のご様子について伺います」

各挿話が存在したなら、その発症時期と消失時期を確認する。「あり」と判断された挿話すべてについて、発生時期の若い(早い)ものから順に、挿話番号、その発症時期、発症時期の確度、消失時期、消失時期の確度、DSM-IV診断基準に該当するか、過去の妊娠歴との関連について記入用紙の既往歴一覧表に記載する。同じ挿話が複数回あれば、すべて記載する。DSMIVの各診断名は、「該当せず」を1、「該当する」を2と記入する。

発症時期:各挿話の発症年月日(西暦)を記入する。(記載方法を参照)

「今回このことはいつからあるのですか」

発症時期の確度:

1. 日の単位
2. 旬の単位
3. 月の単位
4. 季節の単位
5. 年の単位

消失時期:各挿話の消失年月日(西暦)を記入する。(記載方法を参照)面接時点においても当該症状が認められる場合は、面接年月日を消失年月日とする。

「今回このことはいつなくなったのですか」

消失時期の確度:

1. 日の単位
2. 旬の単位
3. 月の単位
4. 季節の単位
5. 年の単位

妊娠・出産への不安

妊娠・出産への不安:非構造化面接部分

「このたびのご妊娠やご出産についてご不安なことはありませんか。あればお聞かせ下さい」

被検者の発言を記載する。

面接終了

「長い間お話をきかせていただいて、ありがとうございました。これで終りたいと思います。先立って、ご説明しましたように、次はご出産後1月目にまた御様子をおしえていただきたいと思います。その時はまたどうぞよろしくお願ひいたします。お日には後日こちらから連絡を取らせていただきますので、その際は宜しくお願ひいたします。それから、御出産後に病棟でアンケートをお願ひいたしますので、そちらも御記入ください。本日は本当にありがとうございました。お気をつけになられて、元気なお子様をお産み下さい」



周産期の女性の メンタルヘルスに関する アンケート調査

現在、厚生労働省では妊娠、出産、子育ての時期にある女性の皆さんのメンタル・ヘルスを維持向上させるために医療機関が何をすべきかというテーマで研究班を作成し、調査を行っております。これまでアンケートにお答えいただきありがとうございました。今回は妊娠5日目のアンケートをお願いいたします。ご協力いただけますようお願い申し上げます。今回の調査はあくまで研究目的ですので、参加・不参加は皆様の自由意思によります。ご参加なさらなくても、今後の診療に何ら不利益はございません。ご記入いただきましたアンケートや面接の内容はすべて番号化して処理し、個人情報が他に知られることはありません。今回の結果は、これからの女性とお子さんへの医療のなかで、「こころへの配慮」を増やす基礎資料となりますので、ご参加を心からお願い申し上げます。

厚生労働省厚生労働科学研究班

主任研究者 熊本大学大学院 臨床行動科学分野 教授 北村 俊則

お名前 _____

産 後 5 日 目 用

お子さまへの感じ方について

事務用欄	施設名		ENTRY ID	
------	-----	--	----------	--

アンケートの記載年月日をお書き下さい。

平成____年____月____日

あなたのお子さまについてどのように感じていますか？ ここにお子さまと一緒に過ごしたり、お子さまに何かしてあげようとするときにお父さんやお母さんがいadakさまさまな気持ちを取りあげてあります。毎日の生活の中で、お子さまと過ごすのを楽しいと思ふこともあるし、そうでないこともあると思ふます。下にあげているそれぞれについて、いまの気持ちに一番近いと感じられる表現に○をつけてください。

	ほとんどい つも強くそ う感じる	たまに強く そう感じる	たまに少し そう感じる	全然そう感 じない
お子さまをいとしいと感じる。	1	2	3	4
お子さまのためにしないといけないことがあるのに、おろおろしてどうしていいかわからない時がある。	1	2	3	4
お子さまのことが腹立たしくいやになる。	1	2	3	4
お子さまに対してなにも特別な気持ちがわかない。	1	2	3	4
お子さまに対して怒りがこみあげる。	1	2	3	4
お子さまの世話を楽しみながらしている。	1	2	3	4
こんな子でなかったらなあと思う。	1	2	3	4
お子さまを守ってあげたいと感じる。	1	2	3	4
この子がいなかったらなあと思う。	1	2	3	4
お子さまをととても身近を感じる。	1	2	3	4

今日一日のあなたの状態について最も当てはまるものに○をつけてください。昨日の様子にかかわらず今日だけの状態を考えてお答えください。

- A. 0. 気分はふさいでない
 1. 少し気分がふさぐ
 2. 気分がふさぐ

	3.	非常に気分がふさぐ		
B.	0.	泣きたいとは思わない		
	1.	泣きたい気分になるが、実際には泣かない		
	2.	少し泣けてきた		
	3.	数分間泣いてしまったが、半時間以内であった		
	4.	半時間以上泣けてしまった		
C.	0.	不安や心配事はない		
	1.	ときどき不安になる		
	2.	かなり不安で心配になる		
	3.	不安でじっとしてられない		
D.	0.	リラックスしている		
	1.	少し緊張している		
	2.	非常に緊張している		
E.	0.	落ち着いていない		
	1.	少し落ち着きがない		
	2.	非常に落ち着かず、どうしていいのかわからない		
F.	0.	疲れている		
	1.	少し元気がない		
	2.	一日中疲れている		
G.	0.	昨晚は夢を見なかった		
	1.	昨晚は夢を見た		
	2.	昨晚は夢で目覚めた		
H.	0.	普段と同じように食欲がある		
	1.	普段に比べてやや食欲がない		
	2.	食欲がない		
	3.	一日中全く食欲がない		
I.		頭痛がする	はい	いいえ
J.		イライラする	はい	いいえ
K.		集中しにくい	はい	いいえ
L.		物忘れしやすい	はい	いいえ
M.		どうしていいのかわからない	はい	いいえ

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成15年度 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
子ども家庭総合研究事業

周産期母子精神保健ケアの方策と効果判定に関する研究

産後1ヶ月面接マニュアル

熊本大学大学院 臨床行動科学

May 2004

記載方法

1. 記入用紙の記載はすべてBの鉛筆でお願いします。記載の変更をする際は消しゴムで消して新しく書きなおして下さい。
2. 各項目はいくつかの項目を除いてすべて適切な数値を与えられたマスの中に、1数字1マスで右につめて記入してください。「約」とか「1/2」といった表現は使わないで下さい。文章での記入が指示されている場合は、余白に自由記入して下さい。
3. 被検者の発言内容が面接の途中で変ったために判断がつかなくなったり、面接で聴取しそこなったり、質問が不可能(例:回答が拒否される)あるいは回答があいまい、等の場合は「9」(2桁なら「99」、3桁なら「999」と記入します。
4. 年齢・回数等については最も適当と思われる正の整数の数値を右に寄せて記入します。「約」とか「1/2」といった表現は使わないで下さい。
5. 前回面接時点からこれまでの心理症状の節では、この期間中に、さまざまな精神疾患が認められたか否かを確認します。そのため、各診断名ごとに診断特異的の症状を一括して配列してあります。必ず例示してある設問にならって、直接、被検者に聞いて確認して下さい。症状がなければ1、あれば2、と記入します。このマニュアルで挿話 episode とは、寛解(2か月以上持続して症状のない状態)と別の寛解に挟まれた、精神医学的に障害を認める期間、もしくはそれまで精神医学的に健康だった者がある時点から症状を示し始め評価時点まで持続している期間のいずれかを指します。
6. さらに、各挿話について、発症時期と消失時期を確認し、西暦で記載します。発症が月の上旬中旬下旬でのみ想起されるのであれば、上旬は5日、中旬は15日、下旬は25日と記載します。また月でのみ想起される場合(例「およそ4月ごろだった」)は、15日と記載します。季節でのみ想起される場合(例「たしか3年前の春だった」)は、春→5月99日、夏→8月99日、秋→11月99日、冬→2月99日とし、年でのみ想起される場合(例「41歳になった年だった」)は年のみ記入しあとは99月99日とします。その上で、発症時期の確度を判定記入してください。挿話の消失時期についても同様に扱います。面接時点でも続いている症状については、その終了時期は面接日として記入して下さい。
7. 機能障害について、入院した場合や、たまたま連休中でなにもしなくてもよかった場合等も、「もし通常の勤務(学業)に就いていたらどうか」と想定して、機能障害を評価します。例えば、飛行機恐怖症で飛行機に乗れば必ず恐怖感、動悸、口渇、胸部苦悶があり、そのため出張を命ぜられても、飛行機での日帰りなら強く拒否するような場合は、機能障害です。また、無理をして飛行機に乗っても、恐怖のため飛行中はほとんど隣席の同僚にも声を掛けられないなら機能障害です。高所恐怖があるが、いやだとは感じて10階にある事務所で毎日勤務し、勤務中は高所にいることを忘れ、昼休み中に食事に出るときなど怖さを感じるのであれば、機能障害ではありません。
8. 「……へ飛ぶ」と指示してある場合には以降の項目については質問をする必要がなく、記入欄を空白とします。
9. 記入する欄がなくても、重要な情報と思われる事柄はすべて余白にメモして下さい。
10. 記入方法について迷った場合は、面接終了後ただちに事務局(北村俊則)に相談して下さい。

記入方法等に関する相談電話

研究室直通

096-373-5181/096-373-5183

一般情報

施設:

被検者氏名:

番号:

面接者名:

面接者番号:

調査年月日:

年
月
日

分娩場所:

1. この病院
2. 里帰り先
3. その他の場所

産科病棟入院年月日:

年
月
日

分娩年月日:

年
月
日

分娩所要時間:

第1期	_____時間	_____分
第2期	_____時間	_____分
第3期	_____時間	_____分

分娩形式:

1. 自然分娩
2. 帝王切開
3. 鉗子分娩
4. 吸引分娩
5. その他

分娩出血量:

_____ml

分娩合併症: 「なし」を 1, 「あり」を 2 と記入する。

- A. 切迫流産
- B. 切迫早産
- C. 前期破水
- D. 前置胎盤
- E. 頸管無力症
- F. 軽症妊娠中毒症
- G. 重傷妊娠中毒症
- H. 微弱陣痛
- I. 過強陣痛
- J. 子宮内感染
- K. 胎児仮死
- L. 子宮内発達遅延
- M. 弛緩出血
- N. 貧血
- O. その他

APGAR得点:

	1分値	5分値
心拍動		
呼吸努力		
筋緊張		
反射興奮性		
皮膚色		

出産の結果:

- 1. 死産
- 2. 生産

新生児の性別:

- 1. 男児
- 2. 女児

児体重:

_____g

新生児の問題: 「なし」を 1, 「あり」を 2 と記入する。

- A. 新生児仮死
- B. 感染症
- C. 奇形 (内容を詳細に記載)
- E. その他 (内容を詳細に記載)

産後の病室:

- 1. 完全母児異室
- 2. 完全母児同室
- 3. 一部母子同室 (例: 日中のみ同室で夜間異室)
- 4. その他 (記入する)

産科病棟退院年月日:

年
月
日

面接参加状況:

- | | | |
|----|-----------------|--------|
| 1. | 面接実施 | |
| 2. | 面接予約は取れたが当日来院せず | → 記入終了 |
| 3. | 面接拒否 | → 記入終了 |
| 4. | その他 | → 記入終了 |

産後1カ月の面接は、児の生死にかかわらず行う。

面接開始

[今回の出産に大きな問題がなかった場合]

「_____様、このたびはご出産おめでとうございます。また、今日も、色々とお話を聞かせていただきますので、どうか宜しくお願いいたします」

[生産に至ったが出産上の大きな問題があった場合]

「_____様、このたびはご出産おめでとうございます。随分と大変なご出産だったと伺いましたが、今はいかがでいらっしゃいますか。また、今日も、色々とお話を聞かせていただきますが、どうか宜しくお願いいたします」

[死産の場合]

「_____様、このたびは大変残念でございました。さぞお心おとしのことと思います。今日は、色々とお話を聞かせていただきますが、どうか宜しくお願いいたします」

「すでに妊娠中にインタビューさせていただきました際に申し上げましたが、今回の面接は、厚生労働省の班研究の一部として行うもので、妊娠前後の女性の心理的状态をお伺いし、今後の産科医療においてご出産を控えた女性に対する心のケアの方策を決めて行くための重要な資料になります。インタビューは、今回と産後3か月目を予定しております。お話をきかせていただいたデータは、すべてお名前を伏せて分析いたします。個人データが部外者に知れることは全くありません。面接は約30分ほどで終わります。もしお答えなさりたくない質問であれば、その部分は飛ばしますので、そのようにおっしゃって下さい」

「それと、こちらからすでにお渡ししましたアンケートはもうご記入いただきましたでしょうか。こちらで頂戴いたします。(まだ記入していなければ)では面接が終わってからご記入下さい」

今回の出産

今回の出産：非構造化部分

「今回のご出産はいかがでしたか」

被検者の発言を記載する。

前回面接時点からこれまでのメンタルヘルス

ここで DSM-IV-TR に沿った診断を行うために SCID を実施

「次は、前回ご妊娠中にお目にかかってから現在までの期間の特に心理的ご様子について伺います」

各挿話が存在したなら、その発症時期と消失時期を確認する。「あり」と判断された挿話すべてについて、発生時期の若い(早い)ものから順に、挿話番号、その発症時期、発症時期の確度、消失時期、消失時期の確度、DSM-IV診断基準に該当するか、過去の妊娠歴との関連について記入用紙の既往歴一覧表に記載する。同じ挿話が複数回あれば、すべて記載する。DSMIVの各診断名は、「該当せず」を1、「該当する」を2と記入する。

発症時期: 各挿話の発症年月日(西暦)を記入する。(記載方法を参照)

「今回このことはいつからあるのですか」

発症時期の確度:

1. 日の単位
2. 旬の単位
3. 月の単位
4. 季節の単位
5. 年の単位

消失時期: 各挿話の消失年月日(西暦)を記入する。(記載方法を参照) 面接時点においても当該症状が認められる場合は、面接年月日を消失年月日とする。

「今回このことはいつなくなったのですか」

消失時期の確度:

1. 日の単位
2. 旬の単位
3. 月の単位
4. 季節の単位
5. 年の単位

分娩・子育ての不安

分娩・子育ての不安: 非構造化面接部分

「このたびのご出産や子育てについてご不安なことはありませんか。あればお聞かせ下さい」

被検者の発言を記載する。

面接終了

「長い間お話をきかせていただいて、ありがとうございました。今日はこれで終りたいと思います。次回は2月(ふたつき)先にお話を聞かせて下さい。お日には()月()日でしょうか。時間は()で、場所は()にしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。では、どうぞお気をつけてお帰り下さい」



周産期の女性の メンタルヘルスに関する アンケート調査

平素はアンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。これは産後1か月目のアンケートです。今回も宜しく願い申し上げます。前回もご説明いたしましたように、今回の調査はあくまで研究目的ですので、参加・不参加は皆様の自由意思によります。ご参加なさらなくても、今後の診療に何ら不利益はございません。ご記入いただきましたアンケートや面接の内容はすべて番号化して処理し、個人情報が他に知れることはありません。今回の結果は、これからの女性とお子さんへの医療のなかで、「こころへの配慮」を増やす基礎資料となりますので、ご参加を心からお願い申し上げます。

今回のアンケートはご記入が終わられたら面接担当者にお渡し下さい。

厚生労働省厚生労働科学研究班

主任研究者 熊本大学大学院 臨床行動科学分野 教授 北村 俊則

お名前 _____

産後1か月用

今回のご妊娠とご出産について

事務用欄	施設名		ENTRY ID	
------	-----	--	----------	--

アンケートの記載年月日をお書き下さい。

平成____年____月____日

【1】 今回のご出産はどう感じられましたか？

- 1) 思ったより軽かった
- 2) 思った通りだった
- 3) 思ったより大変だった

【2】 赤ちゃんの性別（男の子さん・女の子さん）についてどう感じられましたか？

- 1) よかった
- 2) どちらでもない
- 3) がっかりした

【3】 赤ちゃんの性別（男の子さん・女の子さん）についてご主人（パートナーの方）はどう感じられたようですか？

- 1) よかった
- 2) どちらでもない
- 3) がっかりした

お子さまへのご様子について

あなたのお子様のご様子について、以下の4の質問のそれぞれについて、5つの答から選んで最も当てはまるところに○をつけてください。

1	すぐに泣く	全く あてはま らない	やや あてはま らない	どちらとも いえない	やや あてはまる	非常に あてはまる
2	人というのが好きだ	全く あてはま らない	やや あてはま らない	どちらとも いえない	やや あてはまる	非常に あてはまる
3	常に動き回っている	全く あてはま らない	やや あてはま らない	どちらとも いえない	やや あてはまる	非常に あてはまる
4	すぐに飽きてしまう	全く あてはま らない	やや あてはま らない	どちらとも いえない	やや あてはまる	非常に あてはまる

お子さまへの感じ方について

あなたのお子さまについてどのように感じていますか？ ここにお子さまと一緒に過ごしたり，お子さまに何かしてあげようとするときにお父さんやお母さんがいなくさまざまな気持ちを取りあげてあります。毎日の生活の中で，お子さまと過ごすのを楽しいと思うこともあるし，そうでないこともあると思います。下にあげているそれぞれについて，いまの気持ちに一番近いと感じられる表現に○をつけてください。

	ほとんどいつも強くそう感じる	たまに強くそう感じる	たまに少しそう感じる	全然そう感じない
お子さまをいとしと感じる。	1	2	3	4
お子さまのためにしないといけないことがあるのに，おろおろしてどうしていいかわからない時がある。	1	2	3	4
お子さまのことが腹立たしくいやになる。	1	2	3	4
お子さまに対してなにも特別な気持ちがわかない。	1	2	3	4
お子さまに対して怒りがこみあげる。	1	2	3	4
お子さまの世話を楽しみながらしている。	1	2	3	4
こんな子でなかったらなあと思う。	1	2	3	4
お子さまを守ってあげたいと感じる。	1	2	3	4
この子がいなかったらなあと思う。	1	2	3	4
お子さまをととても身近に感じる。	1	2	3	4

赤ちゃんに対してイライラした時、次のようになさったことがありますか。赤ちゃんが生まれてから今までにおよそ何回あったかを、当てはまるところに○をつけてお答え下さい。

	なかった	1回	2回	3～5回	6～10回	11～20回	20回を越える				
	0	1	2	3	4	5	6				
A	赤ちゃんに落ち着いて話しかけた				0	1	2	3	4	5	6
B	自分のやっている事を正当化させる理由を見つけようとした				0	1	2	3	4	5	6
C	事態の解決のために、誰かに手助けしてもらった（もらおうとした）				0	1	2	3	4	5	6
D	赤ちゃんを罵（ののし）ったりした				0	1	2	3	4	5	6
E	不機嫌（ふきげん）に黙りこんでしまい、赤ちゃんの反応を無視した				0	1	2	3	4	5	6
F	赤ちゃんのいる部屋から乱暴に出ていった				0	1	2	3	4	5	6
G	赤ちゃんに対し怒鳴（どな）った				0	1	2	3	4	5	6
H	赤ちゃんのいやがることをしようとした				0	1	2	3	4	5	6
I	叩いたり何かを投げるようなふりをして赤ちゃんをおどかした				0	1	2	3	4	5	6
J	（赤ちゃんではなく周囲の壁や家具などに）何かを投げる，こわす，たたく，けるなどした				0	1	2	3	4	5	6
K	赤ちゃんに向かって何かを投げた				0	1	2	3	4	5	6
L	赤ちゃんを押ししたり，赤ちゃんにつかみかかったり突きとばしたりした				0	1	2	3	4	5	6
M	赤ちゃんを平手でたたいた				0	1	2	3	4	5	6
N	赤ちゃんをけったり，かんだり，拳（こぶし）でたたいた				0	1	2	3	4	5	6
O	物でたたいたり，物でたたこうとした				0	1	2	3	4	5	6
P	赤ちゃんを何度もなぐった				0	1	2	3	4	5	6
Q	赤ちゃんに火傷（やけど）を負わせた				0	1	2	3	4	5	6
R	赤ちゃんを刃物などで脅（おど）した				0	1	2	3	4	5	6
S	赤ちゃんに実際に刃物などを使った				0	1	2	3	4	5	6